



校長室だより

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年9月30日
第24号

秋本番に向けて

運動会が終わり、一気に秋らしい天候になってきました。間もなく10月、秋本番！ スポーツだけでなく、読書や学習、芸術、行楽、食欲等、様々な秋を楽しみたいものです。

先日、1人の6年生が、図工の時間に描く「思い出の場所」として校長室を、ということで、タブレットを手にやってきました。時々校長室にやってきて、話をしたり室内の本を読んだりしていく子なので、今回校長室のことを「思い出の場所」の候補に考えてくれたようです。ありがとう！

とはいえ毎時間校長室にやってきて描くということは難しいので、自分で撮った写真を基に描くとのこと。構図を考えながら角度を変え、何枚か写真を撮っていました。一人一台のタブレット端末があってこそこの方法ですね。

やはり、何と言っても、毎日の授業を大切に！

★「早く勉強がしたい！」の子供心に応えたい

少し前のことですが、3年生の教室におじゃましたとき1人の子が「私、早く6年生になって歴史の勉強がしたいです！」と話しかけてきました。どうやら古代エジプト文明に興味があるということ。嬉しそうに話す表情がかわいらしく、実際に6年生でエジプト文明を学習するかどうかは「……」ですが、その学習意欲に何とか応えてあげたいものだと思います。

そういえば、みらーれTVの「きらきらキッズ」でも年長さんがよく「1年生になったら」と小学校での勉強についての願いを元気いっぱいに話しています。だれでも本来は「分かると嬉しい」「できるようになりたい」「もっと勉強したい」と思うものなのだな、と教えられます。

★子供の心情に寄り添い、楽しく夢中になれる時間を

2学期の始業式では、校長の話として「毎日の授業の時間を大切に」と話しましたが、子供たちに「がんばれ！」と言うだけではなく、我々教師側も当然、授業力を高め、子供たちが楽しく夢中になれるような時間を創る努力をしないといけないと思っています。「(つまらない授業だけど)我慢して取り組みなさい！」ではなく、子供が「何だか面白そうだな」と思わず私語や悪ふざけを止めて近寄ってくるような内容を工夫する(子供は何と言っても楽しいことが大好きですから……)。また、とにかく自分のペースで説明を始め「ほら、また聞いてない！」は教師の「あるある」ですが、できるだけ子供の心に届くタイミングをねらって話す方が効果的に違いありません。思えば子供たちは一日の大半を教室の固い椅子の上に座って過ごしています。「今、この子供たちはどう思っているのだろうか、どういう状態なのだろうか」という視点を持ち、心情に寄り添うことが、小学校の場合は特に必要だろうと感じます。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

次なる目標は音楽会！ 荻っ子の「音楽の秋」真っ盛り

運動会の鼓笛隊の余韻が残る中、5・6年生は10月21日（金）の市音楽会に向けての練習に取り組み始めています。合奏の中でも木琴や鉄琴は希望者が多いため、オーディションを行うということで、先週から各々練習に取り組んでいました。やる気のある子たちが朝の始業前や放課後にも自動的に練習をする音が音楽室周辺から響き何だか素敵です。荻っ子たちがこんなに音楽好きだったとは…。「これでこそ音楽科の研究推進校！」と勝手に感動している私です。肝心のオーディションは28日（水）に行われました。どの子ども精一杯自分の力を出していました。その姿が本当に立派でした。



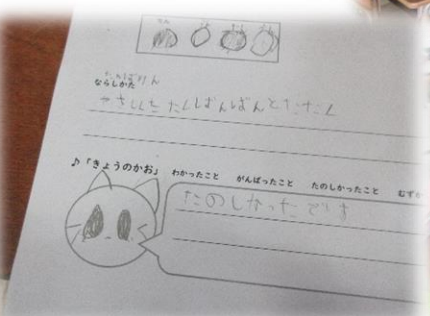
シリーズ「教室におじゃまします」9/22(木)1年音楽科の巻

1年生の音楽は、2学期から打楽器を演奏する学習をしています。「さがしてみよう ならしてみよう」の歌に合わせて自分の選んだ打楽器を演奏します。リズムに気を付けて、曲や友達の演奏に合わせて演奏する楽しさを感じ取るようにするのがポイントです。

広田先生は教科書に合わせて、カスタネット、タンバリン、すず、トライアングルの4つの楽器に絞り、子供たちに楽器を選ばせました。CDの曲には歌唱も入っているので、思わず一緒に歌いながら楽器を鳴らしたくなります。ひとしきり何度も繰り返して演奏遊びをしました（自分の思い通りの楽器でなく半ベそだった子どもそのうち自然に合流していました。かわいいですね）。広田先生も楽しそうに鳴らしているので、前の方に出て並び始める子たちが増えてきました。

広田先生は4拍分のリズムをメモするワークシートに「●●●○」や「○●●○」等の印を各自に書き込ませました。また、どのように鳴らすのかや、学習後の感想も、絵や短い言葉で書かせました。ちょっとした工夫で、まだくさんの字が書けない1年生も、一生懸命ワークシートに自分の学習の記録を取ることができていました。

音楽はやはり音「楽」。楽しく取り組めるのが一番だなあ、と思える授業でした。



おまけの<ひとこと>

過去6年間の教頭時代は、よく音楽の授業を担当することが多かったのですが、その分CDをフル活用し、とにかく子供が音楽を嫌いにはならないように、できるだけ楽しめるようにと、授業の工夫をした日々が懐かしく思い出されます。音楽室から教室に帰る子供たちが今日の授業の曲を口ずさんで帰っていくと「あ、今日の授業は成功したかな」と…。あと、授業の始まる音楽室に早く集まってくれ、すぐに楽器を触り始めたり、歌を口ずさみ始めたりしたときは始めの挨拶もそこそこのまま授業になだれ込みましたっけ…。授業を一番楽しんでいたのは私だったかもしれません。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。